

「学校栄養職員・大学生等を対象とした農業体験と意見交換会」開催概要

～地域の恵みや食文化を食生活に活かそう！～

- 日時：平成25年8月21日（水）10:00～16:00
- 場所：岡山県農林業実践学習の里「体験学習農園」
- 参加者：30名（学校栄養職員等8名、大学生19名、大学教員3名）
- 主催：中国四国農政局
- 後援：岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・岡山県学校栄養士会



■概要

1. あいさつ 消費・安全部業務課 川野主任農畜産安全管理官

2. 農業体験 10:10～11:30

○作業内容

秋冬野菜の種まき

- ・施肥
- ・管理機、鍬を使っての畝立て
- ・マルチ覆い
- ・白菜、大根の種まき
- ・トマトの収穫



3. 蕎麦打ち体験 11:30～14:00

○手打ちそば「くずはら」代表葛原幸一氏による指導で蕎麦打ち体験及び試食



4. 意見交換会 14:00～15:50

○消費・安全部 河口部長挨拶

○情報提供：「我が国の食生活の現状と食育推進」

　　消費・安全部消費生活課 相原課長補佐

○意見交換

　　テーマ：「地域の恵みや食文化を食生活に活かそう！」

　　司会：消費・安全部業務課 内田課長

　　＜学校栄養職員等・大学生の5班編制によるディスカッションを行い、概要発表後、全体で意見交換を実施＞



《主な意見》

- ・給食に含まれている食材が多くの方が関わっていることを知り、これを伝えたい。
- ・蕎麦打ち体験では、蕎麦の香りとか感じることができたし、自分たちと職人さんとの蕎麦の違いを感じることが出来た。
- ・収穫の喜びを感じてもらいたい。また、旬のものを旬の時期にしっかり味わってもらいたい。
- ・都市の多くの人々が農産物や食料品はお金を出せば買えると考えているが、本来は丹精込めた大地の恵みを味わって感謝して食べるべきものだ。
- ・学校給食の食材を常に地元の産物で、提供できるようにしてもらいたい。
- ・農薬や化学肥料等に関する正しい知識をしっかり普及してもらいたい。

5. まとめ 消費・安全部業務課 内田課長

- ・栄養教諭を目指される皆さんに、本日の体験を通じて、一人一人が勉強し考え、農業の大切さをしっかりと伝達して下さい。